

平成28年度

栃木県環境マネジメントシステム

外部評価報告書

栃木県環境マネジメントシステム外部評価委員会

1 外部評価の概要

「栃木県環境管理マネジメントシステム（EMS）」の運用において、業務の実施状況が計画どおりに進捗しているかを確認する一環として、専門的かつ客観的な評価を行うため、外部評価委員会を設置し評価を実施するもの。

(1) 外部評価委員

氏名	推薦団体	備考
石村 左緒里	一般社団法人栃木県産業環境管理協会	
小林 進一	NPO法人栃木県環境カウンセラー協会	委員長
富久田 茂	とちの環県民会議	

(2) 評価対象

EMSの適用組織である全ての所属（308所属）及びEMS事務局（地球温暖化対策課）

(3) 評価対象期間

平成28年4月1日から平成29年2月8日

(4) 評価方法

委員会等において書類審査を行うとともに、一部の所属を抽出し現地調査を実施した上で、EMSの取組状況についての評価を行った。

なお、評価に当たっては、EMSの取組が「栃木県環境管理マニュアル」に従って適切に運用されているかという視点で実施した。

現地調査は、環境負荷に着目して、庁舎管理を行う所属（168所属・施設）から18所属を選定し、実際の取組について現地に赴いて確認した。選定基準等は以下のとおり。

ア 選定基準

- ① 温室効果ガス総排出量（平成27年度実績）の順位が施設数の上位1割に入る施設から2施設を選定
- ② ①以外の庁舎管理を行う所属から16施設を選定

イ 実施期間

平成28年11月16日から平成28年12月19日

ウ 対象施設

（下線は選定基準①に該当。）

施設区分	所属名〔施設名〕
庁舎・事務所系 (オフィス系)	<u>管財課（県庁舎管理者）</u> 、自動車税事務所佐野支所、上都賀農業振興事務所、安足土木事務所
試験研究・検査機関	窯業技術支援センター、農業試験場原種農場
県立学校	宇都宮北高等学校、宇都宮女子高等学校、鹿沼東高等学校、鹿沼商工高等学校、佐野高等学校（附属中）、足利南高等学校、真岡高等学校
警察施設	<u>会計課（警察本部庁舎管理者）</u> 、さくら警察署
その他の施設	<u>とちぎりハビリテーションセンター</u> 、板室管理支所、北那須水道事務所

2 書類審査及び現地調査の結果

(1) 推進体制

各所属とも所属環境管理者、EMS推進員、事務担当者のもと、職員への環境情報等の伝達方法を庁内LANの活用などにより工夫して周知徹底を図っているなど、全体的に良く取り組んでいた。

【改善提案事項】

- 特になし。

(2) 職員研修

EMS事務局による研修や各所属におけるeラーニング研修は、いずれも良く取り組んでいた。特に後者は、職員全員が100点を目指して受講を繰り返している例も多く、また、協力団体にも受講を求めている所属もあり、職員の環境への意識は向上している。

【改善提案事項】

- eラーニング研修で非常勤講師等の未受講が見られた。常勤職員以外でも受講ができるような配慮をすることが望ましい。

(3) 所属目標

多くの所属で目標を達成している。

エネルギー等使用量については、突発的な業務の増加により目標を達成できなかった所属もあるが、今後の改善の取組に資するよう、当該業務による増加分を定量化する等、原因をよく分析することが期待される。

【改善提案事項】

- 削減目標として、具体的な数値目標を掲げ取り組むことで、達成状況の把握やその後の対応策の検討が容易となるため、今後も多くの所属で検討されることが望ましい。
- 目標設定においては、職員の意見を聴きながら、日常業務を踏まえた活動を設定することが望ましい。
- 目標達成のためには、個別の具体的施策の有効性について十分に検証することが重要であり、レビューや成果の見える化及び職員への還元を充実させることが望ましい。

(4) 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）等に基づくエコオフィス活動

栃木県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）で定める数値目標を達成するための取組については、多くの所属で活動が定着し効果をあげていた。今後は、平成28年3月に改正された同計画の目標年度（平成32年度）に向けて、引き続き目標達成に向けて取り組まれることが期待される。

【改選提案事項】

- 取組のマンネリ化防止や新たな気付きのために、広く職員から取組に対する意見を聴き、成果を広く還元する配慮を行うことが望ましい。
- 施設の省エネ改修や設備の運用改善などのハード対策を効率的に行うため、延いては中長期計画書の作成にも資するよう、機器の詳細な確認による省エネポテンシャルの把握を行うことが望ましい。

(5) 法令遵守

所属の事務事業に係る法令については、適正に把握され、ほぼ全ての所属が適切な対応を行っていた。

【改善提案事項】

- 一部の所属において、産業廃棄物、毒劇物・化学薬品及び危険物の保管状況や掲示板に不備が見られたので、早急に改善すること。
- 一部の所属において、フロン排出抑制法に基づく業務用エアコンや冷凍冷蔵機器の点検が未実施であった。点検及び記録の保存を行うこと。
- 主管課又は本所（場）等で一括して法的な手続きを行っている場合は、対象となる所場に対しても手続き内容等の適切な情報提供を行うこと。
- 毒劇物その他化学薬品を保管している場合は、緊急事態に備える為にも、安全データシート（SDS）を備えておくこと。

(6) 緊急事態への準備

緊急事態対応手順書を整備し、消防訓練と併せて定期訓練を実施するなど適切な施設管理に努めている。また、保有する危険物等についても適正に保管されていた。

【改善提案事項】

- 訓練の実施後は「振り返り」を行い、改善点・不足する物資の有無の確認や、所属内職員への結果の周知を行うことが望ましい。
- 灯油等の漏洩事故が発生した場合を想定して、雨水の経路と放流口を確認しておくこと。

(7) 内部環境監査の結果

内部環境監査は適正に実施され、また、注意事項の内容はいずれも適切なものであり、監査は有効に機能していた。

【改善提案事項】

- 内部環境監査は庁内EMS適用組織による相互確認を目的としており、継続的改善を促すためにも、「内部環境監査実施要領」第10条第2項の規定による助言を積極的に行われたい。

(8) その他

その他の評価事項は以下のとおり。

【肯定的事項（評価事項）】

- 職員・生徒等による地域の清掃活動を行うことは、環境美化と合わせて、地域貢献と環境意識の向上に大いに役立つ活動であり、素晴らしい取組である。
- BEMSを導入し、デマンド監視と併せて電気使用量の削減に取り組むことは素晴らしい取組である。

3 評価

(1) 総合評価

平成 23 年 4 月から対象範囲を全庁とした本県の EMS は取組 6 年目となり、環境保全活動が着実に浸透し、効果を上げている。

「栃木県地球温暖化対策実行計画（2011～2015 年度）」で定めた数値目標もほぼ達成していることから、全体として概ね適切であると評価するが、環境目標を達成するための継続的な改善に資するために、いくつか改善を提案する。

(2) 改善提案

ア 所属目標の設定においては、職員の意見を聴きながら、日常業務を踏まえた活動を設定するよう配慮すること。

イ 所属目標の達成については、個別の具体的な取組の有効性について十分に検証することが重要である。具体的な数値目標を掲げ取り組むことで、達成状況の把握やその後の対応策の検討が容易となるため、今後も多くの所属で検討されることが望ましい。

ウ EMS の継続的改善を円滑に図るために、各所属における取組の成果を職員に広く周知することに努めること。

エ 一部の所属において、産業廃棄物、毒劇物・化学薬品及び危険物の保管状況や掲示板に不備が見られたので、早急に改善すること。

オ フロン排出抑制法に基づく業務用エアコンや冷凍冷蔵機器の点検を行うこと。

カ 中長期的な視点に立った計画的な省エネ改修や高効率機器の導入、燃料種転換を、各所属において検討することが望ましい。